

笑楽幸

土佐清水市立清水小学校
校長室便り 令和3年6月3日

やっぱり…でした

前回の校長室だよりの続きになりますが、予報通りスーパームーンの皆既月食はあいにくの天気で見ることができませんでした。

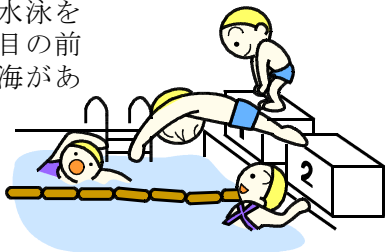
次の日に北海道で観察された映像が流されていましたが、本当にきれいで、大きな月が欠けていく様子は、神秘的な光景でした。

梅雨の最中でもあり、見られないとは思っていましたが、やっぱり…と思うと残念な天体ショーとなりました。

同じような状況での皆既月食は10年後くらいなので、次回は見てみたいですね。

さて、早いもので早6月となりました。1日には晴天のもとプール開きも行われ、6年生が初泳ぎを楽しみました。

コロナウイルスの感染拡大がとまらないことから、今年度についても市内水泳記録会は中止となりました。楽しみにしていた児童もいたと思いますが、幡多管内のすべての市町村が一斉に中止としました。今後は、校内で水泳記録会を開催しその記録を提出することとなります。とは言え、水泳大会があるから、水泳を頑張るのではなく、目の前にはきれいな自然、海があります。素晴らしい環境の中での体験を増やすためにも、これからは遊ぶため、命を守るために授業で泳力を高め、身体を鍛えていってほしいものです。



残食0プロジェクト

【おむすびころりん、1億個】のCM、誰もが一度は見たことがあるのではないかと思います。

日本国内では、食品ロスの量が年間およそ643万トンとされています。そしてその量は一人一人がまだ食べられる量にすると毎日おにぎり1個分と言うことです。

だれもが知っている昔話「おむすびころりん」をモチーフにしていることから、この問題を身近に感じている人がいると思いますが、本当のところどうでしょうか。

最近では、コロナ禍のため、職を失うなどして食事に困っている人も多くいます。限りある資源を本当に考えていくときかも知れません。

話を戻すと『残食0プロジェクト』とは、清水小学校の給食での行動目標です。給食委員会が中心となってできるだけ、残食を減らす取り組みを

しています。

土佐清水市においては、つい最近まで弁当持参でしたが、たくさんの人の努力によって給食が始まりました。

児童をはじめ、保護者のみな様の願いでもあったと思いますが、始めて見るとなかなか大変なこともあります。それぞれの家庭の味があるため、好き嫌いがあります。また食べたくても食べられないなどのアレルギーのことも気をつけなくては

いけません。たくさんのことに気をつけながら給食を作ってくれている人たちに感謝しながら給食を食べています。

ぜひ、バランスのとれた給食。人の身体の成長にとっても大切な食事です。食が細いとかいろいろありますが、配膳された食事をしっかりとって暑い夏を乗り切る力を付けて下さい。



残食0プロジェクトはじまりました…今年ほどの学年、組が目標を達成できるかな？ちなみに4月、5月の清水小学校全体の残食率は5.2%と5.0%です。他の小学校はほぼ0%。単純には比較できませんが、0プロジェクトにどれだけ迫ることができるか、頑張ってください。

歯科検診がありました

今日は、歯科検診がありました。みなさんは口の中の健康に自信はありますか？

実は歯と口の健康については、ずいぶん昔から言われていることです。日本歯科医師会によって「6（む）4（し）」にちなんで1928年から1938年までの間「虫歯予防デー」として取り組まれており、歴史のある取り組みです。

その後「護歯日」、「健民ムシ歯予防運動」等を得て、2013年より6月4日から6月10日までを「歯と口の健康週間」として取り組むようになった歴史があります。

『8020』と言う歯と口の健康に関する数字もありますが、みなさんは知っていますか。令和3年度は『一生を共に歩む 自分の歯』をテーマに取り組んでいます。

食は健康にとって大切なことです。その食が身体の中に一番はじめに通るところが口です。

さて今日の歯科検診の結果はどうだったでしょうか。保健室から歯科検診を受けてのお知らせが

虫歯のなかった人はこれからもしっかりと歯磨きを続けいつまでも歯と口の健康を守ってください。また今日の検診で虫歯が見つかった人は、できるだけ早く治療をすることとこれからの生活の中で今まで以上に意識して歯磨きをすることに気をつけてください。



